

小中一貫教育だより

小中一貫教育について

福山市教育委員会は、ばらと教育のまちをめざす「全国に誇れる学校教育」の実現のため、2012年度（平成24年度）から「義務教育9年間を一体的に捉えた教育活動の展開をめざす小中一貫教育の創造」に、取り組んでいます。3年間を準備期間として、小中一貫教育のカリキュラムを作成し、2015年度（平成27年度）からの全面実施をめざしています。

～2011 (H23)	【1年目】 2012(H24)	【2年目】 2013(H25)	【3年目】 2014(H26)	【4年目】 2015(H27)	【5年目】 2016(H28)	2017 (H29)～
各学校での 取組み	小中一貫教育カリキュラム			小中一貫教育の全面実施		
中学校区 での取組み	作成・一部実施	作成・実施	試行実施・改善			

本年度

小中一貫教育に取り組む理由は、「子どもたちに確かな学力を付け、変化の激しい社会をたくましく生きる力を育む」ためです。

福山市ではこれまで、小学校と中学校が連携する中で様々な課題の克服をめざして取り組んできました。しかし、学力に係る課題の固定化や、暴力行為・不登校の低年齢化などの課題が残されており、それらが小学校から中学校にかけて増加する中1ギャップと呼ばれる状況も存在します。

そこで、小中のギャップなどの課題を解消し、子どもたちに「確かな学力・変化の激しい社会をたくましく生きる力」を育むため、義務教育9年間を一体的に捉えた「小中一貫教育」に取り組むことにしました。

駅家南中学校区の取組み

めざす子ども像

学び合い 支え合い

主体的に活動できる児童生徒

そのために

取組み内容

小中で発達段階に応じた次の指導をします。

学習指導

- 授業規律をつける。
- 家庭学習ができる。
- 班長を中心とした学び合うグループ学習ができる。

生徒指導

- リーダーの育成をする。
- 支え合う集団づくりをする。
- 自分たちの問題を自分たちで解決できるようにする。

そのために

年間活動計画

- 4月 小中の先生が集まって授業規律について研修する。
- 5月 小学生が中学校の体育大会の練習を見学します。中学生は小学生に行進の仕方などを指導します。
- 6月 小中の代表が集まって学習規律の指導の取組みについて交流します。中学校の先生が小学校で授業をします。（3月末まで週1回程度）
- 7月 小中の先生が集まってリーダー育成について研修します。
- 10月 これまでの取組みをまとめるとともに、小中一貫教育のカリキュラムを検討します。
- 11月 小中の公開研究会などに参加してお互いの授業を見学します。
- 2月 小中一貫教育のカリキュラムを作成します。

駅家南中学校区の活動の様子



小中合同研修会

4月3日。宜山小、駅家小の先生が駅家南中に集まりました。発表者の方を向くときは「注目しましょう」、発表を聞き終わったら「わかりました」、先生の質問に答えるときには元気よく返事をして手を挙げるなど、リズム感のある授業規律について学びました。これをもとにして小学校では発達段階に応じた授業規律を考えていきます。



小学生との授業交流

5月8日。駅家小6年生が授業交流に中学校に来ました。まず、中学生が体育大会で行う入場行進の見本を見せました。次に、小学生が行進練習をする時に、中学生が指導をしました。授業交流が終わった小学生は「中学生は心が違います。挨拶も行進も自信と誇りをもってやっているのすごいです」と感想を述べていました。

駅家南中学校区地域支援プロジェクト

「駅家の子を駅家の将来を担う人材に育てるために地域との結びつきを強めたい」そんな思いで宜山小学校、駅家小学校、駅家南中学校では、駅家南中学校区支援プロジェクトを立ち上げました。これまで各小中学校で実施してきた地域とかかわる活動をベースにしたボランティア活動を広げるとともに、学校を地域へ開放する活動を積極的に行います。こうした活動は、学校・家庭・地域の結びつきをより強め、駅家の子を駅家で育てる地域コミュニティの活性化につながるのではないかと期待しています。なお、こうした活動に必要なさまざまな費用は、趣旨に賛同していただいた駅家地域の方々からの募金によって賄われております。4月から始まった中学校関係分の活動を紹介します。



溝掃除

田植が始まる前に、地域の方と一緒に学校周辺の溝掃除をしています。



ばらの手入れ

「100万本のばらのまち」を目指して学校のバラ園の手入れをしています。